SONY

Creative Shooting Techniques

Issue 05

明るい環境で "白つぶれ"のない映像を撮影する

はじめに

人間の眼は、明るい環境で花束を見たときで も、花束の明るさや色合いなどを実物どおり にとらえることができます。これは、人間の 眼がより広いダイナミックレンジ(処理でき る明るさ(輝度)の範囲)を持っているため です。

しかし、カメラで同じ花束を撮影すると、白 い部分などがつぶれて見える"白つぶれ"が 起きた映像になることがあります。例えば "設定前"の映像では、光が当たっている花び らや綿毛が実物よりも白くつぶれています。 これは、花びらや綿毛部分の信号の輝度が、 カメラのダイナミックレンジを超えているた めに起こる現象です。

この場合、被写体の輝度が高い部分の信号を、 カメラのダイナミックレンジに収まるように 圧縮することによって、"白つぶれ"のない映 像を撮影できます。



ソニーのカメラの特長

ソニーのカメラは、白つぶれを防ぐ機能とし て、KNEE(ニー)機能を搭載しています。被 写体の信号を、どのレベルから圧縮するか (ニーポイント)、また、どの程度圧縮するか (ニースロープ)を設定することにより、"設定 後"のように光が当たった花びらや綿毛などが "白つぶれ"していない映像を撮影することが できます。

また、KNEE機能はこのほかにも、複数のカメ ラを使った撮影でも便利です。複数のカメラを 使った撮影では、各カメラの角度や距離によっ て被写体の輝度が変化するため、カメラごとに KNEEの設定が必要です。カメラごとに KNEEを適切に設定すると、各カメラの映像の 印象が同じ(同一設定)になり、最終的にス イッチャーなどで映像を切り換えても違和感の ない映像を撮影することができます。

KNEE 機能を搭載している主なソニーのカメラ HDW-900シリーズ、HDW-750/730シリーズ、 DVW-970シリーズ、PDW-530/510シリーズ、 DSR-450/400シリーズ、MSW-970シリーズ

カメラの設定方法

KNEE(二一)は、PAINTメニューのKNEE ページで設定できます。

PAINT メニューの KNEE を開きます。



2 KNEE を ON (デフォルト) に設定し、 KNEE POINT を 50.0 から 109.0 の範 囲で設定します。



3 KNEE SLOPE を- 99 から+ 99 の 範囲で設定します。



KNEE POINT を低く、KNEE SLOPE を高 く設定すると、高輝度の被写体を"白つぶれ" させずに撮影することができます。 "設定後"の映像では、KNEE POINT が 80.0、KNEE SLOPE が-40 に設定されて います。

- ◆ 設定値は DSR-450WSL の場合です。お使いのカメラやライ ティング環境によって、同じ設定でも映像の色合いなどが変 わることがありますので、必ず映像を確認しながら設定を 行ってください。
- ◆お使いのカメラに付属の取扱説明書などもあわせてご覧ください。

技術情報

ダイナミックレンジとは

カメラなどのデバイスが処理できる輝度信号の 範囲です。ビデオ信号のダイナミックレンジは 一般的に100%から110%ですが、ビデオカ メラ内部の信号処理では、より大きなダイナ ミックレンジの信号を処理することができま す。例えば、ソニーの2/3型CCDカメラのダ イナミックレンジは、最大約600%です。(カ メラの設定によって、最大値は異なる場合があ ります。)

KNEE (ニー) とは

被写体の高輝度部分の信号を、カメラのダイナ ミックレンジに収め、約109%(ホワイトク リップポイント)以内のレベルで出力されるよ うに圧縮する機能です。

ー般的に、ニーポイントは、人間の肌の輝度と 言われている、85から100前後に設定します。 また、ニースロープは高く(+側に)設定し、 ニースロープの傾斜を緩やかにすればするほ ど、圧縮率が高まり、より高いレベルの信号ま でカメラのダイナミックレンジに収まるように なります。しかし、その反面、色信号も同時に 圧縮されるため、ニーポイントを超えた信号の 色合いが薄くなるとともに色相が変化し、"白 つぶれ"しているような映像になることがあり ます。この場合、KNEE SATURATION機能を 併用して色の鮮やかさを調整すると便利です (Issue 02参照)。

◆ 被写体の輝度に応じて、自動的にニーポイントを調整する DCC (Dynamic Contrast Control:ダイナ ミックコントラストコントロール)機能を搭載して いるカメラもあります。DCC は「オートニーコン トロール」と呼ばれることもあります。

